

経営比較分析表（平成28年度決算）

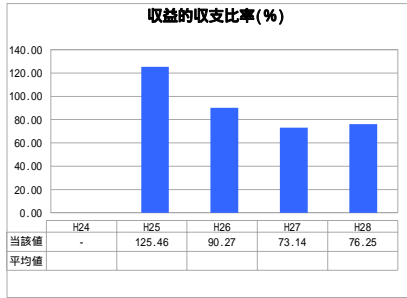
埼玉県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	7.14	100.00	2,160

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,319	33.41	338.79
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
808	0.25	3,232.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

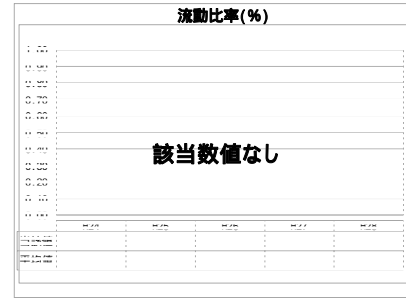
1. 経営の健全性・効率性



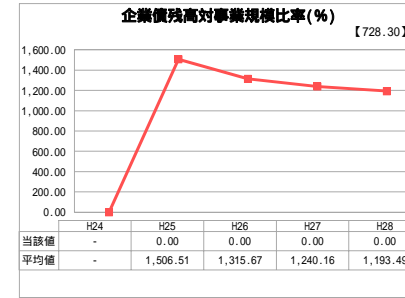
「単年度の収支」



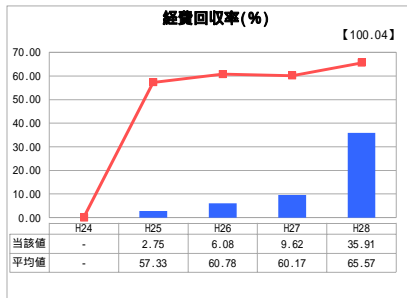
「累積欠損」



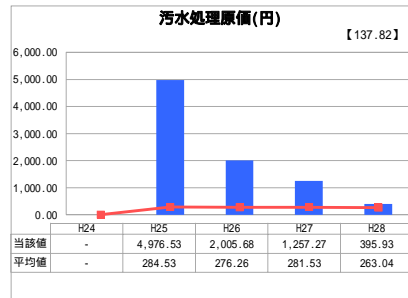
「支払能力」



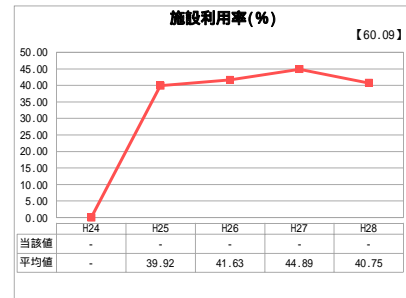
「債務残高」



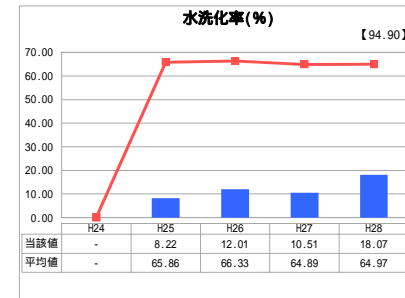
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

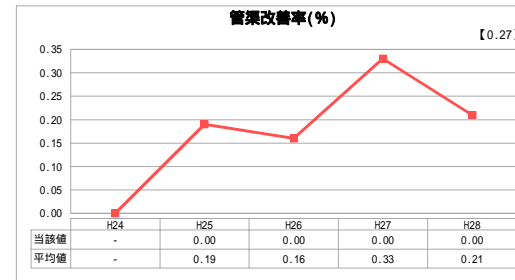
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率 経費回収率については供用開始後間もないため、水洗化率も低く使用料収入も少ないので一般会計からの繰入金に依存している状況です。

汚水処理原価については下水道事業全体の見直しを行い管渠工事を一時中断し歳出が減ったため下がりました。

水洗化率については類似団体と比較すると低い状況であるため、ダイレクトメールや、戸別訪問などを行い、水洗化率の向上に取り組む必要があります。

2. 老朽化の状況について

平成25年に供用開始しており比較的新しい管渠であるため、老朽化対策の必要性は現時点ではありません。

しかし、管渠の点検や地盤沈下等の状況確認を行うため巡回・点検を実施する必要があります。

全体総括

下水道事業の目的である公衆衛生の向上や河川等の水質保全、良好な環境を創造し安定した事業経営を行うために、継続の推進を図り雇入の根幹である使用料の確保に努める必要があります。

法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。